

今後の主な講習会日程(平成21年度分)

発行日 平成22年1月1日

・ 安全教育講習

(1) ガス溶接技能講習

平成22年
1/13(水)14日(木), 1/27日(水)28日(木), 2/9日(火)10日(水), 2/22日(月)23日(火),
3/9日(火)10日(水), 3/24日(水)25日(木), 4/5日(月)6日(火), 4/26日(月)27日(火)

(2) アーク溶接特別教育講習

平成22年
1/21日(木)22日(金), 2/24日(水)25日(木)26日(金), 3/17日(水)18日(木)19日(金), 4/21日(水)22日(木)23日(金)

・ 各種技術講習

(1) 非破壊試験 入門・基礎講習

UT入門		平成22年 1/20(水)～1/22(金)
浸透探傷試験 基礎	レベル1(PT,PD,PW) レベル2(PT,PD)	平成22年 1/13(水)～1/14(木) 平成22年 1/19(火)～1/21(木)
磁粉探傷試験 基礎	レベル1(MT,MY,MC,ME) レベル2(MT,MY)	平成22年 1/25(月)～1/26(火) 平成22年 1/27(水)～1/29(金)

(2) 非破壊試験 学科試験対策講習

超音波探傷試験	レベル1(UT) レベル2(UT)	平成22年 2/22(月)～2/23(火) 平成22年 3/3(水)～3/5(金)
浸透探傷試験	レベル1(PT,PD,PW) レベル2(PT,PD)	平成22年 3/5(金) 平成22年 3/8(月)～3/9(火)
磁粉探傷試験	レベル1(MT,MY,MC,ME) レベル2(MT,MY)	平成22年 2/24(水)～2/25(木) 平成22年 3/1(月)～3/2(火)
放射線透過試験	レベル1(RT) レベル2(RT)	平成22年 2/24(水)～2/25(木) 平成22年 3/1(月)～3/2(火)
材料試験	レベル3共通	平成22年 2/22(月)～2/23(火)

(3) 溶接管理技術者認証取得教育

	WES1級	WES2級
認定研修会 注)	平成22年 4/13(火)～4/16(金)	平成22年 4/13(火)～4/15(木)
直前対策演習	平成22年 5/15(土)～5/16(金)	平成22年 5/22(土)～5/23(日)

注) 講習日程は暫定 (2月初旬以降に正式決定致します)

(4) 抵抗溶接実務教育講習 平成22年 2/20(土)～2/21(日)

・ 溶接技能訓練講習

ステンレス鋼溶接(被覆、テイク、ミグ)	1/6(水)～1/7(木), 2/3(水)～2/4(木), 3/3(水)～3/4(木), 4/7(水)～4/8(木)
アルミ合金溶接(テイク、ミグ)	2/16(水)～2/17(木), 4/14(水)～4/15(木)
半自動アーク溶接(炭酸ガス)	2/2(火)～2/4(木), 4/6(火)～4/8(木)
銀ろう付け溶接	3/4(木)

・ 検定日

鋼溶接検定日	平成22年 1/8(金), 2/5(金), 3/5(金), 4/9(金)
アルミ溶接検定日	平成22年 2/19(金), 4/16(金)

発行所 財団法人 日本溶接技術センター 事務部門
〒210-0001 川崎市川崎区本町2-11-19
Tel 044-222-4102 Fax 044-233-7976
ホームページ <http://www.jwsc.or.jp/>
携帯 <http://m.jwsc.or.jp/>

日溶セがいで

第18号

明けましておめでとうございます

第18号の主な内容

1、当センターで、溶接技能を習得している外国の方にインタビューして

財団法人 日本溶接技術センター
事務部門 一杉則夫

2、将来の抱負

付属 日本溶接構造専門学校
設備・構造安全工学科2年
古川 和美



当センターで、溶接技能を習得している外国の方にインタビューして

財団法人 日本溶接技術センター
事務部門 一杉則夫

当センターにおいて、ここ6ヶ月間、溶接技能を習得している外国の方がいらっしゃる。その外国人の名はオバラ・シシル・オディナカ(以下オバラ)さん。このオバラさんにインタビューを行った。このインタビューによるオバラさんの紹介とこのインタビューによって感じたことをお話ししたい。

オバラさんはアフリカ西部、ナイジェリアの方で、44歳、日本人の妻と11歳の男の子がいらっしゃる。1992年初来日以来、来日帰国を繰り返し母国と日本の双方に活動拠点を持つに至っている。

ナイジェリアでは、コミュニケーション関連の会社を立上げ経営していた事業家である。しかし、ナイジェリアにおいても、企業競争は厳しく、閉鎖に追い込まれ、人とは違う仕事・技術を身につけ、ナイジェリアで、ものづくりの会社を立ち上げたいという目的で再度来日した方である。日本語は独学であるが、流暢な日本語を話す。

ものづくりの会社を立ち上げるという目的で、当センターでは、被覆アーク、半自動、TIG等の溶接技能を修得し、来年は職業訓練校に入校し、旋盤、機械加工など幅広くものづくり技術・技能の習得を進めるとのこと。現在は技能習得と並行して、職業訓練校の入学試験に合格するため、数学等を猛勉強中である。

オバラさんの姿勢を見ていると、明治維新のときの西欧技術を猛烈に習得しようとした当時の日本人、太平洋戦争後の生活の建て直しに必死の当時の日本人の姿勢が見えてくる。

日本の印象についても聞いてみたが、まず「日本はすごい国である。」という一言を受けた。「すごい」とは、「前向きな考え方、個人より全体を考える姿勢」などが、ナイジェリアと比較し「すごい」ということらしい。我々日本人から見れば面白い。

この「すごい国」を「すごいセンター」と言い換えて、当センターについて考えてみた。

当センターの寄付行為(一般企業の定款に当たる)の前文(設立趣意書)には、日本の溶接技術の総合的向上を図り、わが国産業の発展に寄与するという高い見地からの事業コンセプトが記述されている。

また、当センター10年史には、土光敏夫氏、根本茂氏、三上博氏、松尾与助氏等が、この寄付行為に記述されたことを実現しようとする意気込み・迫力、実現までの困難・その困難を如何に克服したか等が明確に記述されている。

当センターは、今年度(平成21年度)で、創立40年(創立日:昭和44年8月18日)となった。一方、新公益法人制度が昨年施行された。当センターの新公益法人制度に対する方針は未定であるが、新公益法人制度に対する方針の検討と並行して、今が当センターの将来の事業コンセプトを検討する良い機会だと考える。

平成22年は、オバラさんの言う「すごいセンター」に向けて、当センターの新しい事業コンセプトについて、「前向きに、個人より全体」という自覚で、全員で議論を進められる年にしたい。

将来の抱負

付属 日本溶接構造専門学校
設備・構造安全工学科2年
古川 和美

将来の抱負。それは会社を継ぎ、強くすることです。「強い会社にする」。この言葉を父は私によく話してくれます。

強い会社とは何だろう。私はそれをずっと考えていました。私の考える強い会社とは、少人数でも、会社が小さくともなくてはならない存在の会社になることだと思います。

そのために、まずは従業員の技術の向上、知識の習得、対外的な判断の基準となる資格の取得。これをしっかりさせなければと思います。

その第一歩として、この日本溶接構造専門学校に入学しました。

会社を継ぐと決めた時、私はこの業界のことを全く知らない素人でした。高校・大学も文系で数学や物理なんてほとんど勉強してない状態です。入学してから何ヶ月間は授業に全くついていけませんでした。

しかし、この学校の良いところは生徒が理解するまで根気よく指導して下さることです。この指導があったからこそ苦手な材料力学や超音波、放射線の事が好きになれたと思います。

この学校では、溶接管理技術者1級、浸透探傷試験レベル2、放射線透過試験レベル2、超音波探傷試験レベル2、磁粉探傷試験レベル2の資格取得が目標でした。磁粉探傷試験レベル2以外は先生のご指導のおかげで取得することが出来ました。残りは働きながら取得する予定です。

次に知識だけでなく経験と物を見る目を養うための修業が必要だと思います。

そのために卒業後は、大手メーカーで修業させていただく予定になっています。

そこでは、寸法検査や外観検査が主な仕事になる予定です。学校で勉強した非破壊試験は全く使いませんがこれが基本であり、この基本が出来ていなければ良い製品は作れないと思いこの部署で修業させていただくことになりました。

初めの半年は現場をまったく知らないのの仕事で覚えるだけで精一杯になると思います。一生懸命現場を学び、職人さんの技術を一つでも多く盗みたいと思います。

修業が終わったら会社に戻り、私が学んできたことを従業員に伝え知識・技術を共有させたいと思います。そして、私を含め従業員全員が知識と技術を兼ね備えた職人になりたいです。

長々と書き連ねましたが、必死で修業し早く一人前の職人になりたいと思います。

付属 日本溶接構造専門学校
入学試験 日程
平成22年1月20日(水)
2月24日(水)
3月24日(水)



図1 オバルさん



図2 溶接技能習得中



図3 実習 風景

